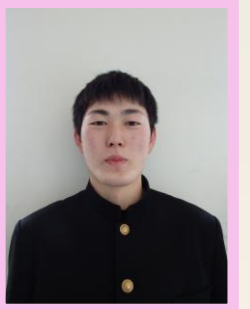


総合学科だより



奥田 和貴
(萩原北中学校卒業)

卒業生の言葉①

三年間総合学科で、学ばせていただき、どのクラスも明るかったのも、とても楽しかったです。総合学科からは部活でも多くの人が成績を残していて、頑張り屋さんな学科だと思えました。私がお世話になった6年「組では、とても明るくて楽しい時間を過ごすことができました。球技大会や文化祭では、みんなで一致団結して、とてもいいものに仕上がったと思うし、絆も一層深まりました。」でいろいろあったけど、卒業式の日最終的に「このクラスでよかったな」と思うことが出来たので最高のクラスだったと思います。三年間総合学科でとても楽しかったです。



安江 南
(佐見中学校卒業)

卒業生の言葉②

入学前から、英語をたくさん学びたいと思い、言語・文化系列を志望していました。また、将来については決まっていまらなかったが、自分の興味のあることが学べる、進学をするにしても必要な科目が選択できる、という点で言語・文化系列は自分に合っているのではないかと思ったのも理由です。英語の授業は、三年間で様々な角度から英語を学ぶ事ができました。私は選択によって週に八時間あった時期もあり、とても充実して楽しく勉強することが出来たと思います。また、普通科とは違って二年時からクラスが三つに分かれるため、友達と進路希望が全く違うことも多くあり、色々な話が聞けたことはいずれ刺激になりました。二年生の始めの頃、看護師になりたいという夢ができました。進学に必要な国語、数学は最初からあったため今まで通り勉強することができました。また補習授業にも参加して受験対策をしていきました。英語に興味があり好きだという人には、ぜひ言語・文化系列に入って欲しいと思います。そして進学でも就職でも選択科目次第で対策ができる、というところもいいと思います。



神戸 理菜
(金山中学校卒業)

卒業生の言葉③

私は総合学科で三年間過ごして本当によかったと思います。私は入学当時から将来何になりたいのか、何をしたいのか全く決まっていませんでした。そこで私は言語・文化、観光産業、介護福祉の三つの科がある総合学科に入りました。一年生では、自分のやりたいことを見つけるための時間がとってあり、じっくり自分のやりたいことについて考えることができました。

そこで私は歯科衛生士という職につきたいと思い、進学するために勉強する言語・文化系列に入りました。系列によって、それぞれ違った内容を学びます。なのでみんながそれぞれに合ったところで、専門的なことを学んでいました。検定などで資格を取ったりもできるので、これから先にきつと役立つと思います。

総合学科では自分の道を広げることができると思います。なのでまだ進路を迷っているという人には総合学科をおすすめします。



桂川 みのり
(下呂中学校卒業)

卒業生の言葉④

私は入学当時は総合学科を希望した理由がはっきりしていませんでした。しかし、先生方や先輩方の勧めで観光甲子園や観高サミットなどさまざまな行事に参加させていただき、私もいろいろなことを計画して提案していきたいと思うようになりました。時には一人で抱え込んでしまったり失敗してしまい叱られたこともあり、部活と勉強を両立できず逃げたこともあり、難しいことばかりでした。三年間頑張り、卒業できたのはクラスの仲間や先生方のおかげです。感謝しています。総合学科を選んで本当によかったです。多くのことを経験させていただけました。三月の中旬から社会人として生活していく上で高校生活で学んだことを決して忘れず働いていきます。



長澤 洋輝
(金山中学校卒業)

卒業生の言葉⑤

私は、総合学科の健康福祉系列、保育コースに進み、「人から学ぶ」ということを学びました。三年生になってからは特に、地域イベントにボランティアとして参加したり保育実習があったりと、多くの人と関わることができました。そんな中で大人のボランティアの方のお話を聞いたり、保育士さんの仕事を感ぜたり、特に子供たちは自分にはない独特の発想や考えを持っているので、驚かされるのがたくさんありました。そうして得たことがすべて自分の知恵となり、今までなかった考え方を身につけることができるようになり、物事をあらゆる視点からみることができるようになりました。これも、人と多く関わることができるといえる総合学科だからこそだと思います。これから私は、就職して仕事につくので、人との関わりを大切に日々成長できるように頑張っています。



熊崎 早香
(萩原南中学校卒業)

卒業生の言葉⑥

私が介護コースで学んだこと、頑張ったことは、介護の実技です。私は、将来介護現場に就職するということが、介護の基礎となる実技を頑張りました。特に難しかったことが、三つあります。一つ目は、シーツはりです。簡単そうに見える作業ですが、少しでもしわがあると褥瘡(じよくそ)の原因となるので、ピンとしわをなくしてはるのが難しかったです。二つ目は、食事介助です。実際に生徒同士で食事介助をやりました。相手のペースに合わせてたり、いつ次の食べ物をお口の中にいれていいのか、タイミングが難しかったです。三つ目は、入浴介助です。機械浴に入ってお年寄りはどういう気持ちかということを経験しました。実際に入って、今から何が起るかわからない不安や恐怖があり、事前に説明する大切さを知ることができました。利用者のことを第一に考える介護士になり、介護コースで学んだことを活かしていきたいです。